

令和5年

- 第11回 -

藤岡市教育委員会定例会議事録

藤岡市教育委員会

令和5年第11回藤岡市教育委員会定例会議事録

日 時 令和5年10月25日(水)  
午後2時56分  
場 所 教育庁舎3階第1会議室

開 会

日程第1 第10回定例会の議事録の承認

日程第2 教育長の諸報告

日程第3 報告第7号 教育長職務代理者の指名について

日程第4 議案第48号 教育委員会事務事業の点検及び評価について

閉 会

・出席委員等

教 育 長	田 中 政 文 君	教育長職務代理者	内 田 孝 嗣 君
委 員	高 橋 祐 紀 君	委 員	貫 井 真 由 美 君
委 員	秋 谷 雅 文 君		

・欠席委員

なし

・説明のため出席した者

教 育 部 長	小 島 治 君	教育総務課長	堀 越 輝 雄 君
学校教育課長	大 塚 崇 君	生涯学習課長	塚 越 裕 一 君
文化財保護課長	軽 部 達 也 君	スポーツ課長	岸 憲 彦 君
学校給食センター 給食管理係長代理	佐 藤 政 之 君	図 書 館 長	湊 田 真 由 美 君
子 ども 課 長	塚 本 健 次 君		

・事務局職員出席者

係 長	山 下 由 希 子	書 記	温 井 謙 人
-----	-----------	-----	---------

## 会議の概要

開会 14時56分

### 開 会

教 育 長（田中政文君）出席委員、全員でありますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定に基づき、会議は成立いたします。

それでは、ただ今より令和5年第11回藤岡市教育委員会定例会を開会します。

初めに、議事録署名人の指名を行います。藤岡市教育委員会会議規則第20条第1項に基づき、温井書記を指名します。

### 日程第1 第10回定例会の議事録の承認

教 育 長（田中政文君）日程第1、第10回定例会の議事録の承認についてですが、各委員におかれましては、訂正箇所等がありましたらお願いします。

委員一同 なし。

教 育 長（田中政文君）第10回定例会の議事録を承認することで、よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし。

教 育 長（田中政文君）第10回定例会の議事録は承認されました。

### 日程第2 教育長の諸報告

教 育 長（田中政文君）日程第2、教育長の諸報告についてですが私から報告します。

教 育 長（田中政文君）最初に教育総務課です。

教育委員会では、教育に対する関心と理解を深めてもらい、本市の教育の充実と発展を図るため、11月3日をふじおか教育の日と定めるとともに、10月16日から11月15日までをふじおか教育月間としています。期間中は、総合学習センター南棟の外壁に懸垂幕を掲げてPRしています。また、小中学校では地域に開かれた学校を目指して、学習成果を発表する催しを行うこととしており、各課においても各種の行事等を計画・実施しています。これら行事予定につきましては、10月1日号の広報ふじおかで紹介したところであります。

次に学校教育課です。

授業改善に向けた取組みでは、2学期は各小中一貫校の代表校による計画訪問や、市や県の指定校における公開授業や研究会を実施しています。10月12日には県の非認知能力育成事業の指定校である小野中学校で国語と技術の授業が実施され、「これまで、ここでは、このあとは」の学びのつながりを大切にするとともに、ネームプレートやつなぎ教材、ICTを有効活用しながら生徒の意欲を高め、主体的な学習を促す工夫が見られました。

コミュニティ・スクールでは、10月13日に鬼石中学校区でいじめ問題解決に向けた教育懇談会が開催され、生徒も参加しての熟議となりました。

また、中学校では10月7日に藤岡多野中学校駅伝競走大会が藤岡総合運動公園陸上競技場及び周辺コースを使って開催されました。男女とも2校が県大会に出場いたします。小学校では、運動会や市陸上教室記録会が開催されました。

次に生涯学習課です。

9月下旬に小中学生の人権に関する標語・作文の審査会が行われ、標語は168点、作文は24点の応募があり、それぞれ最優秀賞1名、優秀賞5名を決定いたしました。

教育委員の皆さまにも出席いただきましたが、10月4日にみかぼみらい館で開催された青少年健全育成大会では、124名の参加をいただきました。少年の主張藤岡市大会の最優秀者3名の発表や、吉川誠司先生を講師に「スマホを持つ子どもたちに起きている真実」と題し、講演をいただきました。

9月の総合学習センターの利用状況は、文化施設利用が239団体で2,789人、体育施設利用が137団体で1,759人、合計376団体で4,548人という状況でございました。

次に文化財保護課です。

9月28日、三波川（サクラ）樹勢回復委員会を開催しました。委員会では各委員の調査分析の報告や藤岡中央高等学校の取組み等が報告され、今後のフユザクラの樹勢回復に向けて、活発な意見交換、情報共有が行われております。

10月11日、高山社跡保存整備計画策定委員会を開催しました。高山社跡の調査の経過などが報告され、高山社跡の耐震補強について協議されましたが、結論には至っておりません。文化財建造物と耐震安全性の取り合いが課題となります。

10月7日に群馬県立女子大学の学生による絹ラボの研究成果内容の高山社跡解説員へのレクチャーと来訪者への絹ことば調査が行われております。ことばの視点で高山社の養蚕技術の普及について知見が加えられたことで、高山社跡の解説がさらに充実できるようにしたいと思います。

9月の高山社跡及び藤岡歴史館の入場者数は、高山社跡が662人、藤岡歴史館が930人でした。また、デジタル博物館9月のアクセス数は2,327人でありました。次にスポーツ課です。

大会関係では、9月24日に第50回藤岡市民秋季弓道大会、10月に入り、1日に第44回藤岡市小学生バスケットボール大会、7日に第53回藤岡市民テニス大会、8日に第69回藤岡市民卓球大会、15日に第9回藤岡市民ボウリング大会、16日に第32回藤岡市民秋季グラウンドゴルフ大会が開催され、合計で844人が参加しております。また、10月7日に開催された市民体力測定では、62人の参加者が体力の向上や心身の健康の保持増進を図るきっかけづくりとして、自身の体力年齢を調べました。

教室関係では、10月16日にボウリング教室が開講したほか、ダンベル健康体操教室、太極拳教室、ジュニアサッカー教室など6教室が開催され、174人が参加しております。

次に学校給食センターです。

9月分の学校給食費ですが、10月2日に口座振替を実施し、89件の振替不能がありましたので、10月13日付けで督促状を発送しております。

10月12日には美九里西小学校2年生13名が生活科の学習で施設見学に訪れました。給食を作っている人への感謝の気持ちや、給食がよりおいしく感じられたこと、給食を楽しみにしていることなどの声が、見学後の児童より寄せられております。施設見学は、学校給食のことを知る良い機会となっているようです。

最後に図書館です。

9月25日から10月2日まで休館し、蔵書点検を実施しました。視聴覚資料を除き、点検冊数は243,996冊で、所在不明となった資料は199冊、そのうち今年度初めて不明となった資料は88冊でした。

9月の利用状況は、開館日数21日、入館者数8,577人、貸出冊数25,301冊でした。学校巡回文庫は、9校を巡回し、利用児童数544人、貸出冊数1,631冊でした。電子図書館は、貸出冊数455冊でありました。

以上、教育長報告といたします。

教 育 長（田中政文君）ただ今の諸報告について、ご質問がありましたらお願いします。

委員一同 なし。

教 育 長（田中政文君）質問もないようですので、教育長の諸報告を終わります。

### 日程第3 報告第7号 教育長職務代理者の指名について

教育長（田中政文君）日程第3、報告第7号、教育長職務代理者の指名について事務局より説明をお願いします。

教育総務課長（堀越輝雄君）報告第7号について朗読及び概要を説明する。

（説明内容）地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項では、教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、あらかじめその指名する委員がその職務を行うと規定されています。この規定に基づき、令和5年10月1日付けにて田中教育長より教育長職務代理者として内田孝嗣委員を指名したものであります。

教育長（田中政文君）ただ今、事務局より報告第7号について説明がありました。これについてご質疑又はご意見がありましたらお願いします。

委員一同 なし。

教育長（田中政文君）ご質疑がありませんので、報告第7号、教育長職務代理者の指名についてを終わります。

### 日程第4 議案第48号 教育委員会事務事業の点検及び評価について

教育長（田中政文君）日程第4、議案第48号、教育委員会事務事業の点検及び評価について事務局より説明をお願いします。

教育総務課長（堀越輝雄君）議案第48号について朗読及び概要を説明する。

（説明内容）お手元の令和5年度藤岡市教育委員会の点検及び評価報告書をご覧ください。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項には「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」と規定されており、この規定に基づき令和4年度事業について点検及び評価を行った報告書がまとまりましたので、市長及び市議会へ提出するに際し、教育委員会の意見を求めるものでございます。

点検及び評価の方法につきましては、教育委員会で実施した令和4年度の61事業を8つに分類し、点検評価シートを作成して、事業ごとのコスト、事業結果、課題と今後の取り組みについて各課において点検を行いました。この点検結果に対し、教育に関する学識経験者として点検評価委員を委嘱している高崎商科大学商学部の熊倉浩靖特任教授と、同じく高崎商科大学商学部の下山寿子教授のお2人に評価をお願いしました。

分類ごとの評価は、報告書9ページからの点検評価シートのとおりですので、ご確認  
いただきたいと思います。報告書48ページからの総合評価では、熊倉教授からは全体  
として着実に業務を実施し、成果を上げている様子が確認できたと評価いただいた上で、  
検討いただきたい事項があるとして各事業についての意見から7件を再掲する形でご意  
見をいただきました。下山教授からは3つの観点からの総合的な所見として、まず令和  
4年度事業はすべからく目標を達成されたものと感得するとした上で、2事業に関し今  
後の事業展開についてのご意見をいただいております。

本日、教育委員皆さまのご意見をいただいた後は、市長と市議会に対し報告書を提出  
するほか、教育総務課のホームページにおいて公表することとなります。

教 育 長（田中政文君）ただ今、事務局より議案第48号について説明がありました。こ  
れについてご質疑又はご意見がありましたらお願いします。

秋谷委員。

委 員（秋谷雅文君）私はまったくの初めてのものですから、とんちんかんな質疑をす  
るかと思いますがよろしく願いいたします。私は今まで民間にいたものですから、非  
常に分かりづらいものがあって、繰越明許費という科目が8ページの「8. 文化財」の  
ところに高山社跡保存整備事業で23,949,000円とあります。これは、要する  
に前年度の事業を繰り越されているから、資金の方も継続するということでよろしいで  
すか。

教 育 長（田中政文君）文化財保護課長。

文化財保護課長（軽部達也君）高山社跡保存整備事業の繰越明許費について、これは前年  
度にスタートした事業ですが、いろいろな事象が出てきまして、特に高山社跡の場合、  
解体工事の中でいろいろな痕跡が新たに発見されたり、上屋の工事の際に覆屋という部  
分があるのですが、その覆屋の部分で不測の工事が生じたことで年度内に完了ができま  
せんでした。年度内に事業を完了できず、支出を終えられない場合に、次の年度へ予算  
を繰り越して実施するという形で、予算の繰越明許を設定した事業になっております。

委 員（秋谷雅文君）民間だと繰越金ということで、剰余金の中に入ってくる形になる  
わけですけど、要するにこれは事業が継続しているから、費用についてもそのまま継続  
されるということよろしいですね。

文化財保護課長（軽部達也君）国の補助金が単年度である関係で、事業自体が年度内に完  
了できないので、次年度へ予算を繰り越して事業完了まで実施したものです。

委 員（秋谷雅文君）進捗状況に応じてということになると、民間の場合では未払計上  
といった形を取るわけですけど、科目が聞きなれない科目だったものですから、質問さ

せていただきました。

教 育 長（田中政文君）他にご質疑はありませんか。

内田委員。

委 員（内田孝嗣君）各課の点検評価シートに事業という項目があり、事業費が書いてあるかと思いますが、例えば15ページの教育総務課の臨海学校運営費負担事業というところについて、はっきり覚えていないのですが、去年老朽化によって事業はなくなつたと認識しています。だから予算がついていないのかと思いますが、そういった場合に、ここに残しておく合理的な理由があるのかと思ひまして、他のところを見てみますと、図書館のところでも移動図書館車事業で似たものがあります。残しておく合理的な理由があればいいのですが、なければ検討していただけたらと思ひ発言させていただきました。

教 育 長（田中政文君）教育総務課長。

教育総務課長（堀越輝雄君）内田委員の質問はもっともなことです。この報告書の6ページからの「3. 教育委員会事務に関する点検・評価分類表」の中で、令和2年度から令和4年度までの3年間分の人件費を含む事業コストを掲載しています。今、ご質問の臨海学校運営費負担事業については、令和3年度まで数字が計上されています。おっしゃるとおり、令和4年度には事業がなかったのですが、そういった意味からこの表に残っているのかと思うのですが、今の説明ですと小中学校空調設備整備事業はこの3年間で完了していますので、さらに精査した上でご意見いただいたことを検討させていただければと思ひます。

教 育 長（田中政文君）図書館も同じ説明でいいですか。

図書館長（淵田真由美君）はい。

教 育 長（田中政文君）他にご質疑はありませんか。

貫井委員。

委 員（貫井真由美君）6ページの詳細目標「(2)学校教育の充実」というところで、事業コスト0円で特色ある教育活動講師派遣事業とありますが、例えばどんなことをする事業ですか。

学校教育課長（大塚崇君）例えば中学校の武道で柔道や剣道の先生をお願いした場合に1コマ2,000円等といった形で謝金をお支払いしていたり、小学校では書道の先生をお願いした場合に同じように謝金を払っておりましたが、コミュニティ・スクールで学校の授業に地域の力を活用していくことになった経緯で、今は事業コストが0円になっております。

教 育 長（田中政文君）他にご質疑はありませんか。

高橋委員。

委員（高橋祐紀君）17ページの中身のところでお聞きしたいのですが、「3. 学識経験者による意見」の中に学校給食センターが子ども食堂の役割を果たせないかという言葉がありますが、これを私はどう解釈していいか分からなかったのですが、学校給食センターが子ども食堂の役割を果たすという意味合いをどう捉えているかを教えていただければと思います。

教育長（田中政文君）貫井委員。

委員（貫井真由美君）私も同じ意見で、これを読んだときにちょっとクエスチョンで、どんな意味で先生が言っているのかなとクエスチョンなので印を付けてきたのですが、高橋委員と同じ意見です。

教育長（田中政文君）学校給食センター所長。

給食管理係長代理（佐藤政之君）学校給食センターの食材料では、子どもたちのためにだけに給食を作っておりまして、子ども食堂に給食を出すことはできない形になっております。

教育長（田中政文君）子ども課長。

子ども課長（塚本健次君）子ども食堂は藤岡市内に2か所あります。この前の土曜日にもあったのですが、そちらでは企業から賞味期限が近いものを提供していただいたり、野菜を作っている方からいただいたりして、食材を募って子ども食堂が運営されています。私の解釈が間違っているかもしれませんが、食材を集めて学校給食センターで調理できないかといったニュアンスなのではないかと思います。

教育長（田中政文君）学校教育課長。

学校教育課長（大塚崇君）学校給食センターは、全児童生徒のための施設ですので、特定の子どもだけに役割を果たすということは難しいのではないかと私個人では思っております。

教育長（田中政文君）熊倉先生の立場から貧困の子どもたちを何とかしたいということと、地域づくりセンターの開設に大きく関わってきた方なので、それらを結び付けてのご意見だということもあると思うのですが、教育総務課長から回答をお願いします。

教育総務課長（堀越輝雄君）今、学校給食センターの意見が目立ちましたが、熊倉先生は非常に広い視野をお持ちの方で、教育委員会以外のものとも連携して、子どもたちにとってこうしていくと良いのではないかということをおっしゃっていただいているのだろうと思います。先ほど説明した総合評価のところ、教育総務課のスクールバス運行事業についても検討いただきたいという意見がありますが、我々が考える事業範囲より、もう

少し大きな視点でお考えになっているような印象を持ちました。この学校給食センターについても、子ども食堂の役割が非常に大きくなっていますので、調理する能力を持つ学校給食センターが果たせる役割があるのではないかとのご提案をいただいたのかという解釈でおります。できることとできないことはもちろんありますが、意見としてはいただきましたから、学校給食センターのみならず各課でご意見は検討させていただきたいと思えます。

教 育 長（田中政文君）学校給食センターの隣に防災公園がありますが、隣接している意味は、有事の際に炊き出し等もできるように考えて作っているということもあります。熊倉先生が地域づくり協議会、地域づくりセンターの立ち上げに当たってリーダーシップを発揮し、市としてご指導いただいた経緯もあります。その上で子どもの貧困といった問題をいかに解決していこうか考えたときに、地域の問題を扱う地域づくり協議会と学校給食センターがお互いに連絡を取りながら、子どもの手助けをできないかといったことを話し合ってみてくださいという提案ではないかと思えます。

高橋委員。

委 員（高橋祐紀君）学識経験者の方から事業に関してご意見や助言をいただいても、その言葉がうまく伝わっていないこともあるのではないかと思いました。人によって解釈が違っていると、いろいろ研究されている方の言葉を残念ながら正確に捉えられず、事業に反映できないこともあるかと思えます。解釈がいろいろありそうなことに対しては、伝えたかった内容はなんですかという確認作業も場合によっては必要で、それができないともったいないことも起きてしまうのではないかと思いました。

教 育 長（田中政文君）他にご質疑はありませんか。

高橋委員。

委 員（高橋祐紀君）26ページのスポーツ課の「2. 課題と今後の取り組み」のところで、これはちょっと興味という部分もあるのですが、各行事への参加者の増加については、思うように進められずという言葉がありますが、思うように進められなかった各行事とはどんなものなのか、それはお年寄り向けなのか若者向けなのかといった傾向があるのか、傾向が分かればどんな人にもっと参加してもらいたいということが分かるのではないかと、これを見ながら思いました。参加者の増加、思うように進められず、更に周知方法と書いてありますので、具体的にどんな行事がもっと来てほしいというものだったのかを知りたいと思ひまして、よろしくお願ひします。

教 育 長（田中政文君）スポーツ課長。

スポーツ課長（岸憲彦君）こちらの点検評価シートは、スポーツ推進委員が進めている軽

スポーツについてのものです。軽スポーツについては、広報などで周知して、年に一度軽スポーツのつどいという行事を実施していますが、どういうことを行っているかをうまく伝えられていません。軽スポーツには本当にたくさんの種類があり、各種団体にも周知していて、ここにも書かせていただいたように、老人クラブや学童クラブでは出前講座で取り組んでいただいているものもあります。楽しさを分かっている人たちには、毎回のように参加してもらっていますが、新たに取り組んでくれる団体や個人にうまく楽しさを伝えられず、いつも同じ団体や年齢層の方にしか参加してもらえない状況です。ただ、今年度は見せることで伝えられるのではないかと、藤岡中央高等学校の文化祭で実施していただいたので、少し違った形が取れたかなという状況です。また、新たにいくつかの学童クラブが取り組み始めてくれているので、少しずつ変わってきているのではないかと感じています。

教 育 長（田中政文君）高橋委員。

委 員（高橋祐紀君）できましたら、軽スポーツにどんなものがあるのか、勉強不足で申し訳ないのですが、いくつか教えていただけたらと思います。

教 育 長（田中政文君）スポーツ課長。

スポーツ課長（岸憲彦君）例えば、スマイルボウリングというものがあり、基本的なルールはほぼボウリングです。ボッチャというものがありますが、目標球を1個投げて的に近づけるものですとか、輪投げも軽スポーツです。この間、健康福祉祭で行ったのが輪投げとボッチャでした。今、群馬県ではモルックを進めたいとのことで、木の棒のことをモルックとって、12本の木製ピンが立っているところにモルックを投げ、倒したピンの数や種類で点数が決まるというものです。モルックは、藤岡にはまだ道具が1つもないので、県に借りに行かないと進められません。他にもたくさん種類があるので後でお伝えしたいと思います。

教 育 長（田中政文君）他にご質疑はありませんか。

秋谷委員。

委 員（秋谷雅文君）15ページのスクールバス運行事業なのですが、先生の方からめぐるんを利用したらどうかということが書いてあります。実際に運行事業費が約1,900万円で、6台ですから1台当たり約300万円以上掛かっています。さらに利用者が27人とすると1人当たり約70万円の費用が掛かっているということです。これによって児童生徒の登下校時の安全を確保しているということですが、私が見ている限りめぐるんはほとんど乗客が乗っていないですね。そういった中で登下校時にめぐるんをスクールバス専用みたいな形で走らせるとか、そういうことは考えられないのかと

いうことです。

教 育 長（田中政文君）教育総務課長。

教育総務課長（堀越輝雄君）先ほどの学校給食センターの話と似たものと感じておりますが、現在スクールバスについては鬼石地区と日野地区、美九里地区の3地区で合計6台運行しています。日野地区においては、かつて小学校が3校あったのはご存じだと思いますが、今は一番下の旧日野東小学校が現在の日野小学校で、日野西小学校と日野中央小学校はなくなってしまいました。ところが子どもはおりますので、現在、日野小学校まで非常に通学の距離が長いことから、通学に距離のある子どものためのスクールバスという位置づけです。これは鬼石においても同様です。現在、鬼石地区は小学校が2校しかございません。美九里西小学校地区については、高山地区にも子どもがおりまして、これも距離があります。山がちな地域では歩くのも大変というところから、スクールバスを運行しているものです。めぐるんについては、当然運行経路も違いますし、いただいたご意見は私も読んで、考え方としては分かりますが、正直に言うところちょっと難しいところがあると思っています。登下校の時間と路線バスの需要の時間も異なる部分もあろうかと思えますし、なかなか簡単にできることではないということです。しかし、ご意見としてはいただきましたので、めぐるんは我々の所管ではないので、こういうご意見もいただいたという話を担当課とはしてみようと思っています。

教 育 長（田中政文君）秋谷委員。

委 員（秋谷雅文君）それから以前、藤岡第二小学校のプールがだいぶ老朽化し、それを直すためには相当な費用がかかるので、その代替としてみずとびあ藤岡に児童を送って、そちらで泳がせているという話をテレビか新聞で見ました。その際にはインストラクター等がいるので、学校で行うより技術的にも向上が図られるし安全性も保たれるという話だったのですが、藤岡第二小学校はそれでいいと思うのですが、それ以外のプールも老朽化したところがあるかと思えます。それ以外の学校について、そういうことになったときにどのように考えるのかそれをお伺いしたいです。

教 育 長（田中政文君）教育総務課長。

教育総務課長（堀越輝雄君）秋谷委員のおっしゃるように今年度は藤岡第二小学校と、それからもう1校神流小学校、この2校が学校でのプール授業から市民プールみずとびあ藤岡へ移行しました。実は昨年度からこの計画を進めておりまして、市内の全11校の小学校には基本的にプールがありますが、段階的に全校市民プールへ移行しようという計画になっております。今年度は、藤岡第二小学校と神流小学校の2校が移行しましたが、令和6年度はその2校に加えて東中校区の3校、藤岡第一小、美九里東小、美九里

西小を加えて計5校が市民プールへ移行する計画となっております。令和7年度以降も段階的に移行するということでもありますので、西中校区、小野中校区、鬼石中校区と、各年度にそれぞれの校区を加えていく形でいずれ11校全てが移行するという計画ではあります。

委員（秋谷雅文君）何年くらいの計画、スパンで考えていますか。

教育総務課長（堀越輝雄君）毎年度、各中学校区を加えていきますので、令和9年度まで5年かかる計画です。

教育長（田中政文君）他にご質疑はありませんか。

貫井委員。

委員（貫井真由美君）先ほどの子ども食堂の話に戻りますが、私は時々フードドライブを実施している藤岡のコープのお店にいろいろな物を持って行ったりするのですが、ボックスの蓋を開けてみると前よりも物が入っていたりして、以前に比べると周知されてきているのかと思いますが、やはりまだ浸透していないところもあるので、そういう周知も含めて熊倉先生にも、こういうことを行っていますとお話をされたらいかがかと思いました。

この先生方の意見を読みますと、どこまで先生方が実際に藤岡市に来て、実際の事業をご覧になっているのか、ただ文書を読んで説明されて、こういう意見だとおっしゃっているのかその辺が分からないので伺います。

教育長（田中政文君）子ども課長。

子ども課長（塚本健次君）子ども食堂ですが、本当は周知したいのですが、作っているボランティアの方の人数の問題があります。現在の利用者は、ボランティアの方が声掛けをしていって広まった人数ですので、ほかにも子ども食堂ができるのであれば事情も変わってきますが、現状では子ども食堂の宣伝は控えたいと思っています。この間かがやき食事会という子ども食堂に行きましたが、私が目視した範囲で5、6人くらいのボランティアの方で75食くらい作っておりました。もっと人数が増えてしまうとパンクしてしまいますし、善意で取り組んでいただいていることですので、難しいところかと思っています。

教育長（田中政文君）学校の中で子ども食堂などを、先生方や子どもたちがどう認識しているのかを学校教育課長から回答してください。

学校教育課長（大塚崇君）学校の中で教員から子どもたちにアナウンスするということは私が学校にいるときにはありませんでした。私もこの辺はあまりコメントできなくて申し訳ありません。

教 育 長（田中政文君）今、両課長から説明した問題もありますが、熊倉先生がおっしゃっているのは子どもたちを何とか助けてあげたいという思いなので、貫井委員から意見が出たように、どうすればより多くの子どもたちに提供できるか、どうすれば教員や子どもたちに周知できるかといったことも大きなテーマだと思います。ありがとうございました。

先生方が藤岡市の状況をどう認識しているかということについて、教育総務課長から回答をお願いします。

教育総務課長（堀越輝雄君）最後にお話ししようかと思っていたのですが、この報告書のご意見をいただく前に、事実確認をしたいということで、いくつか質問された項目がありました。それに対して回答した上のご意見となっておりますが、その際に熊倉先生の側から意見交換の場が必要ではないかということをおっしゃっております。実際にどう行うかは先生と相談をしなければなりませんし、これだけの量ですので先生の時間も割いていただかなくてはならないので、相談した上で考えたいと思います。下山先生からはそういった話はありませんでしたが、同じ大学ですので合わせて相談させていただこうと思います。必要に応じて委員の皆さまにもご報告をさせていただこうと思います。

教育長（田中政文君）評価者が実態をよく把握するというのは、当然のことだと思いますので、そういった方向で進められればと思っております。先ほど高橋委員から出たご意見にも関連していることかと思っておりますので、今後は教育総務課長が説明したように進めていければと思っております。

教 育 長（田中政文君）他にご質疑はありませんか。

秋谷委員はご意見ありませんか。

委 員（秋谷雅文君）私は初めてなものですから、全く分からないので、さっき言ったようにとんちんかんな質問ばかりしていると思います。この間、学校訪問で私の母校である小野中学校区を視察させていただきましたが、それまでコミュニティ・スクールの取組みを知りませんでした。熊倉先生も実際問題どんなことがなされているのかが文面では分からないと言っていますが、写真があると非常に分かりやすいのではないかと思います。学校訪問の時に小野小学校で更生保護女性会の方たちが裁縫の指導をしていましたが、花植えなどもしてくれているそうです。そういったところで地元の住民との協力にリンクしていると感じました。言葉を飾るというのは失礼ですが、文章は非常にすごい文章ですが、もう少し具体性があった方がいいのではないかと、それには写真を取り入れていくなどしてもいいのではないかと感じました。

教 育 長（田中政文君）学校教育課長。

学校教育長（大塚崇君）ここに全てを載せるというのはなかなか難しいとは思いますが、各学校ではコミュニティ・スクールや小中一貫教育の取組みについてはホームページで紹介していますので、そちらもご覧いただきながら、こちらの文章を見ていただけるとありがたいと思います。

教育長（田中政文君）熊倉先生から指摘があったように、パンフレットを作っているなどといったことしか分からないのではないかと、少し内容的なことを入れるべきではないかということも、確かにおっしゃるとおりだと思いますので、今後改善していきたいと思えます。

委員（秋谷雅文君）そういうことによって他の学校に対するPRというのではないですが、こんなことに取り組んでいるということを知っていただければいいと思います。

教育長（田中政文君）他にご質疑はありませんか。

委員一同 なし。

教育長（田中政文君）ご質疑がありませんので、質疑を終了いたします。

これより採決いたします。

議案第48号について承認することにご異議ございませんか。

委員一同 異議なし。

教育長（田中政文君）異議がないようですので、議案第48号、教育委員会事務事業の点検及び評価については、原案のとおり承認されました。

## 閉 会

教育長（田中政文君）以上で、本委員会に提出されました議案の審議は全て終了しましたので、本日の会議を閉会します。

閉会 15時49分

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和5年11月17日

教育長 田 中 政 文

書記 温 井 謙 人